

新年度が始まった1日、各地で入社式が開かれた。国鉄の分割・民営化から30年のJR東日本はさいたま市で入社式を開き、安全を守るために新社会人に向けて「プロの意識が大事」と訓示した。1日が土曜日となったため、多くの企業や官公庁は週明け3日に、入社式や入庁式を予定している。

# 春の決意

西武鉄道など西武グループ25社の合同入社式が1日、東京都港区の東京プリンスホテルで開かれた。昨年より158人多い863人の新入社員が新たなスタートを切った。

西武ホールディングス(HD、所沢市)の後藤高志社長(88)は「少子高齢化の急速な進展や生産年齢人口の減少などで先行きが見通しにくい。既存の事業だけにとどまらずには衰退しかねない。新規ビジネスの拡大にもスピード感をもって挑戦していく必要がある」と訓示。「重要なのは自分で成長しよう、勉強しようとする意欲。自己啓発に取り組み姿勢を身に付けてほしい」と呼び掛けた。

新入社員を代表して西武HD入社の佐藤雅哉さん(23)と、プリンスホテル入社の米沢葉月さん(23)が「西武グループの社員としての誇りと責任を持ち、入社同期として協力し合い、西武グループの躍進のために



富田哲郎社長ら経営陣を前に、金沢理紗さんが新入社員を代表してあいさつした。1日午後、さいたま市大宮区の大宮ソニックシティ大ホール

## 西武グループ 成長意欲 忘れず

努力する」と誓いの言葉を述べた。

入社式会場の東京プリンスホテルはグループ企業が運営し、2016年4月から改装工事を完了し、1年間の休業を経て1日に営業を再開した。同ホテルのリニューアルオープンのこけら落としとなる1日に合わせて入社式を開催した。

(関根義浩)



後藤高志社長(右)に誓いの言葉を述べる新入社員代表。1日午後、東京都港区の東京プリンスホテル

## 新年度スタート

国鉄が分割・民営化し、JR7社が発足してから1日で30年となった。各社は民営化による投資効果で安全性やサービスの向上に取り組み、利用者増や収益改善につなげた。一方で各社間の経営格差や赤字路線の維持など課題を多く抱えながら、新たな時代のJRへ歩みを進める。

30年の幕開けとなった1日は、JR各社が入社式を開いた。

リニア中央新幹線の工事を進めるJR東海の柘植康英社長は新入社員約7200人に向け「リニア開業はこの国に無限の価値をもたらすことになる。自分たちが将来に大きく貢献

## JR発足30年 新時代へ出発



JR東日本が東京駅で開いた30年記念のコンサート。1日午後

する」という気概を持つ」と語った。それぞれの職場で新しい風を吹き込んでJR西日本の来島達夫社長は「それ、ほしい」と呼び掛けた。

## 7社社長ら意気込み

JR北海道の島田修社長は新入社員約3000人に「北海道の鉄道の未来は、あなたが主役だ」と激励。新入社員の白畑桂吾さん(22)は「経営難と承知で入社した。会社再生の原動力になりたい」と抱負を語った。

JR東日本は東京駅で30年記念のコンサートを開催し、福島県相馬市の「相馬子どもオーケストラ」と岩手、宮城、福島の3県出身の若者による「東北ユースオーケストラ」が演奏。東京都内の駅では、白い制服姿の駅長が利用客に「おかげさまでJRは30周年」と書かれたティッシュを配った。

## 全国各地で入社式

## JR東日本 安全守る意識を

民営化から30年の節目を迎えたJR東日本は1日、さいたま市最大級の財産はお客さまの信頼。自官区で入社式を開いた。富田哲郎社長は「この30年は鉄道の再生と復権を成し遂げようと、全社員が『今描いている夢や思いを忘れず、並々ならぬ決意で挑戦し、大勢の変化に柔軟に対応できるしなやかさ』を常に胸に刻んでほしい」と訓示した。

入社式には新入社員約1800人、新入社員を代表し、東日本大震災で被災した宮城県出身の金沢理紗さん(22)が「次の30年に向けて最初の一步を踏み出すことに、大きな責任を感じる」とあいさつ。仙台支社に配属される予定で、夢は地域振興の仕事に携わり、東日本エリアの発展に貢献すること。地域の皆さまに信頼され、必要とされる存在になりたい」と抱負を語った。

2017年度の採用人数は例年並みの1824人。大宮支社の配属は約1500人で、入社式には阪本未来子支社長も出席した。

(三宅芳樹)

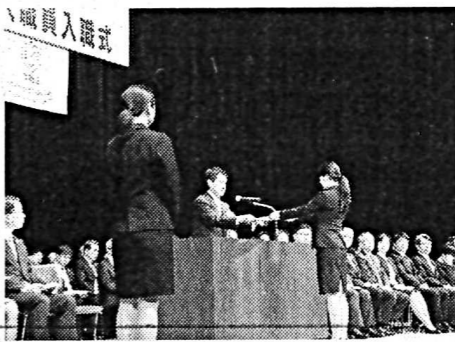
## 戸田中央医科グループ プロの医療人に

1都4県に28の病院や六つの老人保健施設を展開する戸田中央医科グループ(戸田市本町、中村隆俊会長)の新人職員入社式が1日、戸田市文化会館で行われた。戸田中央総合病院など100超の関連事業所に配属される新入職員820人が、医療人としての第一歩を踏み出した。

中村毅副会長は入職式で「医療は医師や看護師をはじめとするチームで成り立っている。日頃のコミュニケーションの大切さを忘れないでください」とあいさつ。「今日からプロの医療人として経験を積み、新たな歴史を共に歩み築いていこう」と激励した。

新入職員は、看護師や介護福祉士、薬剤師など各職種の大代表者が登壇して辞命を受け取った。新入職員誓いの辞を述べた山本紗衣さん(24)は「1日も早く立派な医療従事者になれるよう、日々研鑽を積んでいきたい」と気持ちを新たにしていた。

(中野えみり)



中村毅副会長から辞命を受け取る新入職員。1日、戸田市上戸田の市文化会館